【様式２】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	西興部村酪農家（萩原牧場）、オホーツク総合振興局（網走農業改良普及センター紋別支所）
取組の名称	新潟県村上市の小学校を対象とした西興部村牧場 Web 体験
実施時期	令和 4 年 10 月 13 日（木）
取組内容	西興部村と同村内の酪農家の協力の下、新潟県村上市の小学校と放牧地を Web 会議システムで接続し、社会科の授業の一環としてオンライン牧場体験を実施しました。 この授業は、小学 5 年生 29 名に対し、「日常的に口にする乳製品の原料がどのようにして生産されているか？」について学ぶことを目的に行いました。 乳牛がカメラに映ると、児童からは「大きい！」「かわいい！」などの声が上がりました。牧場主から説明を受けた後、あらかじめ撮影しておいた朝の作業風景や牧草収穫作業の様子を見てもらいました。広大な放牧地や普段見ることのない牛乳の生産現場は児童の皆さんには新鮮に映ったようで、牛の種類や仕事の様子など積極的に牧場主へ質問を寄せていました。 コロナ禍で気軽に外出しにくいご時世ですが、インターネットを利用して牛乳の生産現場の様子を間近に感じられたのではないかと思います。 Web 会議システムで配信する様子 真剣に授業を受ける児童の皆さん

【様式２】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	標茶町
取組の名称	標茶高校と連携した食育推進事業「小学生の標高農園体験」（野菜の収穫）
実施時期	令和4年9月上旬～中旬
取組内容	＜目的＞ 標茶高校で生産された野菜等を学校給食で提供するにあたり、その食材となる野菜を子どもたち自ら標茶高校の農園で高校生との交流を通して育てることにより、地域（地元の高校）の良さを理解させ、関心をもたせるとともに地域への愛着や誇りを育み、もって食に関する知識の習得と地産地消の意識向上を図ることを目的としています。 ＜主催＞ 標茶町学校給食共同調理場 ＜共催＞ 北海道標茶高等学校、町内全小学校 ＜実施日＞ （1）野菜の収穫 令和4年9月 14 日（水） 10:00～11:30 9月 15 日（木） 10:00～11:30 ＜会場＞ 北海道標茶高等学校農園 ＜参加対象＞ 町内小学校（6校）の1～2年生 及び引率教職員 ＜実施日程＞ ～10:00 各学校から高校へ移動 10:00～10:10 作業準備等 10:10～10:20 作業内容等の説明 10:20～11:20 収穫体験 11:20～11:30 帰校準備等 11:30～ 高校から各学校へ移動 ※5月下旬に「野菜の種苗植え」も実施しています。種植え（定植）後、収穫までの期間（6月上旬～9月上旬）に管理作業（除草など）も実施。